

平成 29 年度 新規採択時評価の実施状況

(砂防課)

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
通常砂防事業	大坂沢	掛川市	252	38.58	
通常砂防事業	芋堀寺沢	浜松市天竜区	130	27.08	
火山砂防事業	田中沢	富士市	118	44.5	
地すべり対策事業	平野	浜松市天竜区	200	2.17	
地すべり対策事業	門島	浜松市天竜区	107	1.05	
急傾斜地崩壊対策事業	岩戸山	伊豆の国市	140	4.74	
急傾斜地崩壊対策事業	関の沢 No.2	静岡市葵区	200	2.49	
急傾斜地崩壊対策事業	西久保	静岡市清水区	150	2.99	
急傾斜地崩壊対策事業	川口	島田市	140	2.90	
急傾斜地崩壊対策事業	下平田	浜松市天竜区	210	1.82	

平成 29 年度 新規事業箇所調書

(砂 防 課)

事業名	急傾斜地崩壊対策 事業		
河川・路線・施設名等	川口	所在市町	島田市
事業費	140 百万円	事業期間	H29～H33
事業概要、目的 川口地区は、静岡県島田市北部に位置し、保全対象として人家 8 戸、要配慮者利用施設である伊久美幼稚園（定員数：70 人）を含む急傾斜地である。 当該地区周辺は、斜面の荒廃が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高いため、早急に崩壊防止対策の整備を図る。			
費用対効果 (B/C)	2.90	総費用	368
		総便益	127
		基準年	H26
費用対効果分析の手法 「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」（平成 11 年 8 月）による。			
評価指標、項目 <災害発生時の影響> 要配慮者施設及び人家 8 戸などに被害を及ぼす恐れがある。 <過去の災害履歴> なし <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">伊久美幼稚園</div> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>静岡県 島田市川口</p>  <p>人家裏の斜面状況</p>  <p>斜面と保全人家の状況</p> </div> </div>			

平成 29 年度 新規事業箇所調書

(砂 防 課)

事業名	通常砂防事業 事業						
河川・路線・施設名等	大坂沢			所在市町	掛川市		
事業費	252 百万円			事業期間	H29～H33		
事業概要、目的							
<p>大坂沢は、保全対象として人家 105 戸及び掛川老人福祉施設センター山王荘、大坂浄水場、県道相良大須賀線、掛川市道を含む土石流危険渓流である。大坂沢上流では、溪床には不安定土砂が厚く堆積し、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害による被害を未然に防止する。</p>							
費用対効果(B/C)	38.58	総費用	234	総便益	9,027	基準年	H26
費用対効果分析の手法							
「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(平成 24 年 3 月)による。							
評価指標、項目							
＜災害発生時の影響＞		人家 105 戸、県道相良大須賀線、掛川市老人福祉センター山王荘などに被害を及ぼす恐れがある。					
＜過去の災害履歴＞		なし					
＜災害発生の危険度＞		渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性は高い。					
							
<p>特筆すべき保全対象</p>  							

平成 29 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	地すべり対策事業		
河川・路線・施設名等	平野	所在市町	浜松市天竜区春野町
事業費	200 百万円	事業期間	H29 ~ H33
事業概要、目的			
<p>平野地区は静岡県浜松市天竜区春野町に位置し、保全対象として県道袋井春野線（第2次緊急輸送路）及び一級河川不動川、人家 25 戸を含む地すべり危険箇所である。当該箇所の斜面では、活動を示す古い滑落崖や緩斜面地形が発達しており、豪雨時を中心として地すべり活動が継続して発生していると考えられるため、早期に防止工事を実施し、地すべりによる被害の軽減を図る。</p>			

費用対効果(B/C)	2.17	総費用	200	総便益	434	基準年	H28
------------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

費用対効果分析の手法
 「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」（平成 24 年 3 月）による

評価指標、項目

<災害発生時の影響> 人家 25 戸、県道袋井春野線、一級河川不動川等に被害を及ぼす恐れがある。

<過去の災害履歴> 平成 27 年度の現地調査により地すべり変状が確認された。

<災害発生の危険度> 滑動を示す古い滑落崖や緩斜面地形が発達しており、豪雨時を中心として地すべり活動が継続して発生していると考えられるため、災害発生の危険性は高い。

事業概要図



航空写真

（一）不動川



写真

私道クラック状況



位置図

平野地すべり対策事業



対策計画平面図